

●人との関わり

●家族との関わり： <ul style="list-style-type: none"> 日常的によく使う言葉（～へ行ってきます、～をください）を理解し、言うことができる。 父親に対して、額を叩いたり、鼻を押したりすることがある。
●友人（同世代の人）との関わり： <ul style="list-style-type: none"> 他者にあまり、興味を示さない。（家）同じクラスの特定のの人に、自分から関わるが増えてきている（学・放）
●周りの大人（先生や支援者など）との関わり： <ul style="list-style-type: none"> 「コチョコチョしてください」と、自分から担任に言う。担任以外に、他の先生と関わるのが、少ない。（学） 特定の方（小柄で可愛く、遊んでくれる人）に、「コチョコチョしてください」と、言う。（放）
●知らない人との関わり： <ul style="list-style-type: none"> 関わりを通して、少しずつ受け入れる。気にかけてくれる人、明るい人、一緒に遊んでくれる人が、好き。（家） 新しい職員でも、受け入れることができる。（放）
●社会的常識・ルールの理解： <ul style="list-style-type: none"> してはいけないことを、あえて行い、気を引く様子が見られる。（学・放）

●コミュニケーション

◇主なコミュニケーションの方法（○をつける） 実物 絵 写真 文字 言葉 ジェスチャー その他（ ）	
●本人から相手に伝えるとき	●相手から本人へ伝えるとき
《要求》 <ul style="list-style-type: none"> 口頭で、伝える（家） 文章を、ひとつのセンテンスとして覚えており、自分で言葉で伝える。自分で、具体物を持ってきて、「いいですか」と聞く時もある。（学） 	《要求》 <ul style="list-style-type: none"> すべき事の、流れを大まかに決めておく。具体物を、定刻に提示して、声かけをする。（家） 本人専用のスケジュール（文字と写真付き）を活用する。具体物を指さしながら、言葉かけを行う。（学校） 声かけを行う。（放）
《注意喚起》 <ul style="list-style-type: none"> 両親の近くに行き、声を発する。（家） 鼻を鳴らして、気をひく。（学） 鼻を鳴らしたり、失禁したりして気を引く（放） 	《《注意喚起（気づいてほしいとき）》》 <ul style="list-style-type: none"> 声かけで、呼ぶ。「～するから、来て」と具体的に伝える（家） 呼ぶと、振り向き、こちらに注意を向ける（学） 失禁したり、水遊びをしたりして、気をひく。（放）
《拒否の仕方》 <ul style="list-style-type: none"> 「行かん」「嫌」と言ったり、動かなかったりする。（家・放） 嫌なときに、鼻を鳴らす、寝転ぶ（学） 陰部を触る。眉間にしわが寄る。（放） 	《してはいけないことの伝え方》 <ul style="list-style-type: none"> 「だめ、危ない」と口頭で伝える。「～したら、病院よ」と、具体的に伝える。（家） 言葉で、代案を提示する。指で×を示す。（学）
《その他（特徴、支援のてがかり）》	《その他（特徴、支援のてがかり）》

